

# グローバル・カレンダーと経済指標のポイント 〈1月15日号〉

## グローバル・カレンダー 〈政治・経済イベントと経済指標〉

### 注目ポイント！

- ▶ 1月12日から17日まで、安倍首相は、バルト3国（エストニア、ラトビア、リトアニア）、ブルガリア、セルビア、ルーマニアの順に6カ国を歴訪しています。サイバー攻撃対策の技術力の高いエストニアや今年前半のEU議長国であるブルガリアでは北朝鮮への対応で連携を確認するものとみられます。
- ▶ 23日から26日まで、スイスのダボスで世界経済フォーラム年次総会が開催され、トランプ米大統領が出席する予定です。世界のリーダーが一堂に会するダボス会議で、米国第一主義を掲げるトランプ大統領の発言が注目されます。

月	火	水	木	金
1/15	16	17	18	19
	日 12月企業物価指数 日 11月第3次産業活動指数 英 12月CPI、PPI	日 11月機械受注 日 阪神・淡路大震災から 23年 米 地区連銀経済報告 (ページブック)	日 11月設備稼働率 米 12月建設許可件数 米 12月住宅着工件数 トルコ 金融政策決定会合	米 1月ミシガン大消費者 信頼感 米 連邦政府暫定予算期限
22	23	24	25	26
	日 金融政策決定会合 (1/22~) 独 1月ZEW景況指数		独 1月ifo企業景況感指数 欧 ECB金融政策委員会	日 12月全国CPI 米 GDP速報 (10-12月期) 英 GDP速報 (10-12月期)
29	30	31	2/1	2
	日 12月小売業販売額 米 一般教書演説	日 12月住宅着工件数 米 FOMC (1/30~)	米 1月ISM製造業景況指数	米 1月雇用統計 米 12月製造業受注
5	6	7	8	9
欧 12月小売売上高		日 12月景気動向指数 日 12月毎月勤労統計	日 1月景気ウォッチャー 調査 日 10-12月期個人向け貸 出金 住宅資金	中 1月PPI、CPI

### こんな予定も！

1月18-19日	第19期中央委員会第2回全体会議 (2中全会、北京)
1月20日	トランプ米大統領就任から1年
1月23-26日	世界経済フォーラム年次総会 (ダボス会議)
1月23-28日	NAFTA再交渉第6回会合 (モントリオール)
2月3日	米、イエレンFRB議長退任
2月上旬	米、予算教書

(注) 日程は資料作成時点のものであり将来変更されることがあります。

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

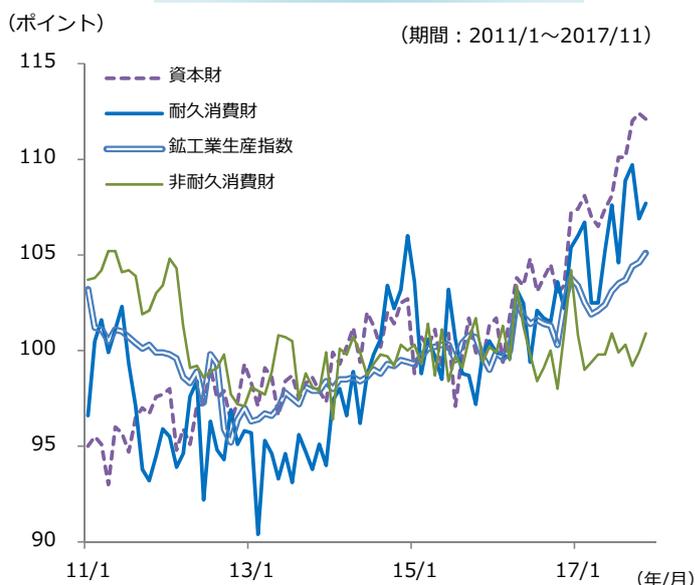
## 最近の経済指標のポイント

### 英国

11月の鉱工業生産指数は前月比+0.4%となりました。財別では消費財がプラスとなっており、耐久消費財（同+0.8%）、非耐久消費財（同+1.0%）となりました。一方、資本財は同▲0.2%と、7カ月ぶりにマイナスとなりました。

英国の鉱工業生産指数は上昇傾向を強めています。国民投票後に進んだポンド安が輸出産業などの追い風となったほか、世界的な景気回復の動きが背景にあるものとみられます。今回、資本財は前月比で小幅なマイナスとなりましたが生産は拡大傾向にあり、設備投資需要が強まっていることが窺われます。業種で見ても、機械・機器など設備投資関連のモメンタムが強まっています。EU離脱交渉は、依然として英国経済にとって懸念材料ではあるものの、当面、英国の鉱工業生産は、回復の動きが続くものと予想されます。

英国：鉱工業生産指数（財別）

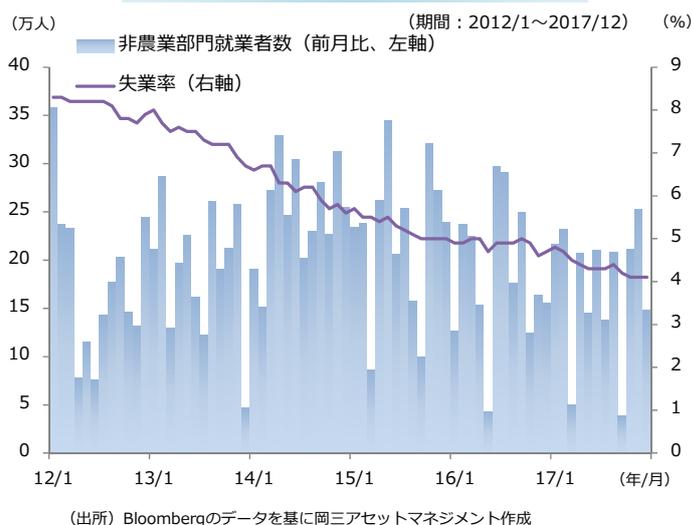


### 米国

12月の雇用統計では、非農業部門就業者数が前月比+14.8万人となりました。また、失業率は4.1%と、引き続き、2000年12月以来の低水準となっています。

今回、非農業部門就業者数は、増加幅が縮小しましたが、財部門では製造業や建設業などにおいて着実に増加しているほか、サービス部門でも伸びが続いています。小売業は11月に大幅に雇用を増やした反動なども出た可能性があるともみられ、季節的な要因が影響しているものとみられます。総じて米国の雇用は良好な状況が継続していることから、FRBが今年3回利上げを実施するという見通しに変わりはないとみられます。一方、賃金の伸びは、抑制された状態が続いていることから、利上げペースは、緩やかなものになると考えられます。

米国：非農業部門就業者数、失業率の推移



以上 （作成：投資情報部）

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 皆様の投資判断に関する留意事項

### 【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

### 【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用

**購入時手数料**：購入価額×購入口数×上限3.78%（税抜3.5%）

- お客様が換金時に直接的に負担する費用

**信託財産留保額**：換金時に適用される基準価額×0.3%以内

- お客様が信託財産で間接的に負担する費用

**運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担**

：純資産総額×実質上限年率2.052%（税抜1.90%）

※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

**その他費用・手数料**

**監査費用**：純資産総額×上限年率0.01296%（税抜0.012%）

※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。

※監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

### 【岡三アセットマネジメント】

商 号：岡三アセットマネジメント株式会社

事 業 内 容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業

登 録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号

加 入 協 会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

### <本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）